

令和2年度 学術・調査委員会活動報告書

担当理事：藤 浩、 副担当理事：大賀 正一

委員長：笹原 洋二 副委員長：家原 知子

委員：磯田 健志、木下 義晶、古賀 友紀、五味 玲、田尻 達郎、成田 敦、安井 昌博
(五十音順)

オブザーバー：菊田 敦

2020年度の活動報告

1) 「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」をJCCG 固形腫瘍観察研究、JPLSG 登録システムとも連携して新規登録システムとして構築し、2018年症例からの症例登録を運用している。

2019年症例：2020年5月31日締め切り→2020年6月20日締め切り

→社会情勢を考慮し、登録締め切りを延期した

2020年の日本血液学会、日本小児血液・がん学会でポスター報告

HPでの公開

2020年症例：2021年5月31日締め切りとし現在集計中

2) 「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」改訂第4版の倫理審査を理事長施設および学会研究審査委員会に提出し、承認後にHP公開を行った。

これまで各施設倫理審査状況の把握がされていなかったため、学会事務局への施設倫理審査承認書の提出と文書による同意取得の徹底をお願いする周知を登録施設に行った。

(添付資料：2021年7月6日現在の施設倫理審査承認状況)

3) COVID-19に関するガイダンス、関連論文の調査、HPでの情報提供

各学会、研究組織(COG, SIOP, St Jude HP, ASH など)より出ているガイダンス、statementの翻訳、小児血液・がんに関する関連論文の要約を行い、一般向け、医療者向けに分けてHPで公開している。随時更新し、関連HPリンクについてアドレスも掲載している。

2020年4月13日 第1弾公開

2020年4月27日 第2弾公開

2020年5月21日 第3弾公開

2020年6月24日 第4弾公開

2020年9月24日 第5弾公開

2021年2月4日 第6弾公開

4) 関連研究班との事業

①厚労科研令和元年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業「小児・AYA 世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化」（鈴木班）でアンケート調査を行い、第 62 回学術集会で報告した。

②厚生労働科学研究班「全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究班（平田班）へ小児がんに関連する学会として出席し、情報交換を行っている。

2021 年度の活動計画

1) 症例登録事業の今年度の状況の確認・解析・公開

- ・2020 年登録集計の学術集会報告およびホームページにて公開する
- ・登録項目に基づいた解析について血液腫瘍と固形腫瘍の WG にて検討し、年次報告として報告する

2) 症例登録事業の倫理審査体制の管理

- ・アセント（低学年用・高学年用）の作成・研究審査委員会へ審査申請・HP 公開
- ・施設倫理審査承認済の施設把握のための施設リストの更新
- ・2021 年 6 月 30 日の人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（新指針）に従い、中央一括倫理審査の可能性について、JCCG・JPLSG と連携して検討を進める

3) COVID19 関連の HP での情報提供

4) 関連班研究との連携

以上